

水俣病に二千万円

農林省が予算に計上

農林省は水俣湾沿岸における水俣病対策費として明年度予算に二千百七十万円、原因究明のための調査費四百八十万円を計上、二日大蔵省に提出した。対策のおもな内容次の通り。

▽漁場轉換―本年度応急措置（明年一月―三月まで）で行なう対馬海域のイカつり漁業に引きつづき明年度はチャーター船を三十隻（本年度は二十隻）に増加する。さらに五ノ末満船二十隻をチャーター、奄美大島、五島列島などのブリひきなわ漁に従事させる。

▽指導船建造（二十ノ建造費三百六十五万円）―熊本県が指導船を建造、外海漁業の経験に乏しい漁民の技術指導を行なう。

▽前進基地設置―適当な基地に前進基地を設置、県の事務所、船員の宿泊所施設などに利用させる。

▽眞珠母貝養殖―漁船乗組員以外のものに対し眞珠母貝の養殖を奨励する。また調査費については

西海区、内海区、淡水海区の三研究所合同で不知火海流調査、魚介類有毒化試験など原因究明にあたる。なお所要経費は全額国と県の折半負担である。